

【令和3年度】 No.89 熱帯果樹優良種苗普及システム構築事業

事業概要

事業概要: パインアップル有望品種、パッションフルーツのウイルスフリー苗、ピタヤ新品種など 生産現場で求められている熱帯果樹の優良種苗を効率的に普及し産地育成を図るため、種苗需要調査や知的財産権に係る調査などを行う。その結果を基に、自走できる熱帯果樹優良種苗の供給体制整備に取り組む。

事業期間: 平成27～令和3年度

総事業費: 296百万円(うち国費: 237百万円)

補助率 国: 県 = 80% : 20%

R3年度実施内容

- ①ピタヤ新品種の種苗生産供給に向けた種苗需給・生産意向調査
 - ・種苗供給量に係る調査と県育成品種の増殖の実践
 - ②調査結果を基にした自走可能な種苗供給体制の整備(全品目)と供給実施
 - ・パインアップル種苗供給システムの周知
 - ・ピタヤ種苗供給システムの周知
 - ・パッションフルーツウイルスフリー苗供給システムの周知
- 事業費: 10百万円(うち国費: 8百万円)

事業実施の目的・効果

【目的】 生産農家が熱帯果樹の優良種苗を容易に入手できる体制を整備する事により、熱帯果樹優良品種の普及と産地化、果実品質の向上によるおきなわブランド力の強化、県育成品種の知財保護に繋げる。

【R3年度成果目標】 種苗供給体制の整備 3件
(パインアップル、ピタヤ、パッションフルーツ)

年度毎の取組

	H27～R1年度	R2～R3年度
・熱帯果樹種苗需要等調査(ピタヤ以外)	→	
・茎頂培養生産技術の開発(パイン、パッションフルーツ)	→	
・パインアップル新品種の高度利用型種苗増殖と新たな種苗供給体制の実践と普及	→	
・ピタヤ新品種の種苗生産供給に向けた種苗需給・生産意向調査		→
・調査結果を基にした自走可能な種苗供給体制の整備(全品目)と供給実施		→

イメージ図

